

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2018. 1. 15

下水道機構の『新技術情報』 第316号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

機構近くの江戸川公園の梅が咲き始めました。寒い日が続いていますが、季節は少しずつ進んでいるのですね。「この間、決算が終わったかなあと思ったらもう年度末かあ」と時の流れの速さを感じています。年度末にかけて慌ただしくなりますね。体調に気をつけて今週も元気にお過ごしください(^_-)-☆

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第316号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・1月の技術サロンは、国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課 企画専門官 堂蘭洋昭 氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は行事はありません

■Tea Break

・主婦の競馬(総務部 ペンネーム 肥え馬、難無し さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる

・今回のゆいまーるは、お休みします

■下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

・2/2(金)開催の現場研修会に関連した記事をアメッジの「担当者's VOICE」上で紹介しています！

■国からの情報

・1/12 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話題です)

。○。○。

●1月の技術サロンは、国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課 企画専門官 堂蘭 洋昭氏をお迎えして開催しました

今回のテーマは「平成30年度下水道事業予算等について」でした。

堂蘭企画専門官は、平成10年に建設省（現国土交通省）下水道部下水道企画課に入省されました。佐賀国道事務所調査課長、東北地方整備局都市・住宅整備課長、金沢市都市整備局土木部長を歴任され、平成25年に下水道部下水道事業課にて課長補佐として業務に携わられ、その後平成27年に岡山市下水道河川局統括審議監を経て、現在は現職である下水道部下水道事業課の企画専門官としてご活躍されています。

講演内容は、平成30年度下水道事業予算の概要や交付金の交付要件等についてでした。平成30年度の予算編成にあたっては、財政制度等審議会などで大変活発に議論されご苦労されたとのことでした。同審議会では、国による財政支援は、下水道の公的役割・性格を勘案し未普及の解消や浸水被害防止等の雨水対策に重点化すべきとの意見や、公営企業会計導入の促進や広域化やコンセッションをはじめとするPPP/PFIの導入によるコスト縮減の徹底、などの意見があったそうです。

社会資本整備総合交付金については、①アクションプランに基づく下水道未普及対策事業、②PPP/PFI、下水汚泥のエネルギー利用、広域化・共同化の取組みを推進するため追加的に必要となる下水道事業、防災・安全交付金については、①地方公共団体が定める下水道計画に基づく雨水対策事業、②国民の安全・安心の確保に向けた取組みを推進するため追加的に必要となる下水道事業、のそれぞれ2点ずつが重点配分項目となるということです。

また交付金の交付要件についても、平成30年度からの取組みとして、①平成34年度までに広域化・共同化に関する計画を策定すること。さらにこれに向け平成30年度に策定の検討に着手すること。②平成30年度に公営企業会計適用の検討に着手することとし、人口3万人以上の団体は平成32年までに適用、人口3万人未満の団体はできる限り適用すること。とされるそうです。

来年度以降の方針や傾向が伺えるとも興味深いご講演で、今回も多くの方々にご参加していただき、大変盛況のうちに閉会となりました。

さて、次回の技術サロンは2月8日（木）16:00から17:00での開催となります。「埼玉県下水道局の最近の取組」をテーマに、埼玉県下水道局 本田参事兼下水道事業課長を講師にお招きしご講演いただきます。

多数のご参加をお待ちしております！

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

○行事：第66回新技術現場研修会

日時：平成30年2月2日（金）13:20～17:00

場所：横浜市旭区川井本町、及び、横浜市緑区西八朔町・小山町

テーマ：社会情勢に応じた河川事業との連携や既存施設有効活用による効率的な浸水対策

対象者：下水道機構の出捐団体・賛助会員及び公共団体等の下水道技術者

参加費：無料

定員：45名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

※申込み多数の場合、1機関1～2名とさせていただきます場合があります。

※詳細及びお申し込みはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop-at-site/workshop-at-site-info>

○行事：第367回技術サロン

日時：平成30年2月8日(木) 16:00～17:00

場所：機構8階 中会議室

講演者：埼玉県下水道局 参事 兼 下水道事業課長 本田 康秀 氏

テーマ：「埼玉県下水道局の最近の取組」

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●主婦の競馬（総務部 ペンネーム 肥え馬、難無し さんからの投稿です）

毎週、日曜日の夕方は、1週間分のYシャツのアイロンがけをしながらテレビを見ています。ちょうどその時間に競馬中継をしていたのがきっかけで、最近、競馬に興味を持ち始めました。

レースも楽しいのですが、レース前のパドック（レースを走る直前の馬の状態をチェックできる場所）での馬体の解説が面白く、元調教師の鈴木康弘さんという解説者の解説を聴いて楽しんでいます。鈴木解説者は、馬の歩き方、癖、体形、体重、表情、などを表現豊かに解説し、これまでの戦歴やジョッキーや親馬の情報と併せてレースを予想していきます。

例えば、「この馬は緊張すると尻尾の根本が上向きになりますが、今日は下がっているのでリラックスしている」とか「今日は良い表情をしている」、「今日は歩き方がダメだ」など。素人目には全く分かりませんが、分かるようになりたくて真剣に見ているとアイロンがけの手は止まり、あれ？いつもより時間かかっている・・・。ちなみに同時に二つのことをすることは脳トレにもなり認知症予防にもいいのだそうです。手を休めずに競馬中継を見るようにしなくては。

専らテレビの前で楽しんでいる競馬ですが、考えてみると東京競馬場は家の近所。今年は競馬場へ行って生のパドックとレース（馬券を買ってみます！）を見て、私腹（体重増量中）ではなく、目を肥やしたいと思います（笑）。

※肥え馬、難無し・・・馬は少々肥えているものの方が欠点が少なく、無難なこと。

。○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○。

●今回のゆいまーるは、お休みします

!(^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^)♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○。

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

。○。

国土交通省では、平成 28 年度より下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」を試行的に運用し、地方公共団体の職員が職場に居ながら浸水対策に係る情報を入手して技能を習得できるよう、国や各都市の取組、統計情報や雨道場の情報等を配信しています。当機構では、国土交通省の政策支援として、アメッジにおけるコンテンツの充実化や改良を行い、浸水対策の促進を図っています。今回は「第 66 回新技術現場研修会」について紹介します。

●2/2(金)開催の現場研修会に関連した記事をアメッジの「担当者’ s VOICE」上で紹介しています！

下水道機構では「社会情勢に応じた河川事業との連携や既存施設有効活用による効率的な浸水対策」をテーマとして、横浜市の旭区、緑区における浸水対策について現場研修会を開催します。本地区では、関連部局と連携した総合的な浸水対策を実施しており、今後、浸水対策を進めていく方々の参考になると考えておりますので、是非ご参加下さい。現場研修会の内容は以下のとおりです。

①平成 30 年度の浸水対策事業のポイント(仮称) (国土交通省水管理・国土保全局下水道部様)

②横浜市旭区川井本町地区における浸水対策について (横浜市環境創造局様)

③横浜市緑区西八朔地区および小山地区浸水対策について (横浜市環境創造局様)

現場研修会の詳細や参加申し込みについては、以下の URL へアクセスして下さい。

URL : <https://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop-at-site/workshop-at-site-info>

また、現場研修会に関連した記事をアメッジの「担当者’ s VOICE」上で紹介しておりますので、あわせてご確認下さい。横浜市の記事へは、以下の「担当者’ s VOICE」一覧からご確認頂けます。

「担当者’ s VOICE」一覧の URL : http://shinsui-portal.jp/voice_top/

なお、アメッジ内の一部コンテンツにおいては、事前登録（現時点では、国と地方

公共団体が対象です。)が必要となります。新規登録は、以下の URL よりお願いします。
登録画面 URL : <http://shinsui-portal.jp/regist/>

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2018. 1. 12 国からの最新情報です)

送信元 : 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

年が明けてはや2週間。今週・来週と新年会に参加される方も多いのではないのでしょうか。下水道部でも今週、部全体の新年会がありました。部職員の多くが参加した新年会は賑やかで楽しく大いに盛り上がりました。(ムードメーカー・○田係長の功績大!) 部のまとまりも一層向上したように思います。今年一年、あらたな気持ちでがんばれそうです。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○「下水道事業における広域化・官民連携・革新的技術 (B-DASH) に関する説明会」
(G キャラバン) の開催について (下水道企画課)

=====

○「下水道事業における広域化・官民連携・革新的技術 (B-DASH) に関する説明会」
(G キャラバン) の開催について (下水道企画課)

国土交通省下水道部では、下水道事業における課題を解決するための有効な手段となる以下の取組について、最新の国の方針や実際の取組事例に関する説明会を、地方公共団体職員の方々を対象に全国のブロック単位で開催致します。(一部の地域では内容が変更となる場合があります)

■内容

1. 広域化 : 下水道の広域化・共同化に関する制度や形態、連携手法を体系的に事例集(案)として整理。広域化・共同化のプロセスや効果、課題等を説明。
2. 官民連携 : 下水道事業における官民連携手法の説明、取組事例や補助制度についても紹介。
3. 革新的技術 (B-DASH) : ガイドライン化された革新的技術の普及展開に向けて、技術内容や導入メリット等の説明を実施。

■対象

- ・地方公共団体職員

■開催日程・場所

- ①北海道：1月25日（木）（場所：北海道開発局）
- ②東北：1月11日（木）（場所：東北地方整備局）※実施済み
- ③関東：2月8日（木）（場所：東京駅周辺）
- ④北陸：1月17日（水）（場所：北陸地方整備局）
- ⑤中部：調整中（場所：中部地方整備局）
- ⑥近畿：2月13日（火）（場所：大阪市内）
- ⑦中国：2月1日（木）（場所：中国地方整備局）
- ⑧四国：2月16日（金）（場所：四国地方整備局）
- ⑨九州：1月26日（金）（場所：九州地方整備局）
- ⑩沖縄：2月21日（水）（場所：内閣府沖縄総合事務局）

■お問い合わせ先

各地方整備局 下水道担当
各都道府県 下水道担当部局

積極的な参加をお待ちしております。

=====

【参考情報】

- ◆マンホールのふたでPR＝埼玉県所沢市 <1/10 時事通信>
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2018010900611&g=jfn>
- ◆FB見て下水道に関心を 京都・長岡京がアカウント開設 <1/9 京都新聞>
<http://www.kyoto-np.co.jp/local/article/20180109000084>
- ◆災害時の避難所生活で困るトイレに 安心快適「トレーラー」 <1/8 大分合同新聞>
<https://www.oita-press.co.jp/1010000000/2018/01/08/131651159>
- ◆耐震化やIoT活用盛り込む 宇都宮市が上下水道の基本計画素案 <1/8 下野新聞>
<http://www.shimotsuke.co.jp/category/life/welfare/safe/news/20180108/2928736>
- ◆三浦野菜の新たな肥料に 農高生が研究成果を披露 <1/1 タウンニュース>
<https://www.townnews.co.jp/0502/2018/01/01/413567.html>
- ◆カプセル流して下水管検査 静大など実用化目指す <12/22 中日新聞>
<http://www.chunichi.co.jp/article/shizuoka/20171223/CK2017122302000093.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニュースレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
